

2023年度

# 学校関係者評価報告書

関西医科専門学校

2024年12月13日

## 2023年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日時 2024年12月4日（水）14時30分～15時

2. 場所 関西経理専門学校 会議室

3. 評価委員

評価委員	所属	役職名
山尾 一磨	医療法人山尾診療所	理事長（校医）
櫻本 恭平	株式会社Cocolo 訪問看護ステーション心くこころ	代表取締役（卒業生）
堀之内一徳	大阪学院大学高等学校	事務長
清水 晴稔	株式会社SFC	代表取締役社長

2023年度「自己点検・自己評価報告書」に関する審議・評価

教育理念目的人材育成像

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
学校の理念・目的・人材育成像は定められているか	本学園の建学の精神は、「教育と学術の研究を通じ、広く一般社会に貢献し、且つ人類の福祉と平和に寄与する視野の広い実践的な人材の育成を目的とする。」であり、入学案内書やホームページ等に謳っている。	学校の理念・目的・人材育成像は明確である。
学校の理念・目的・人材育成像・特色などが学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	本校の教育方針は、専門分野の高度な技能を取得し国家試験に対応できる能力の養成とともに、豊かな教養を持った人格の形成を行い、実践的な人材を育成することであり、学生便覧・保護者説明会資料・ホームページ等に記載している。	学生便覧・保護者説明会資料・ホームページ等に記載し、周知を図っている。
各学科の教育目標、人材育成像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	関係業界（病院や実習施設）からのニーズを実習施設訪問時や臨床教育者会議（臨床実習指導者会議）等の機会にて調査し、教育内容に反映している。	業界のニーズを把握し、教育内容に反映しているが、絶えず変化に対応すること必要である。

学校運営

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	運営方針は、毎期毎に事業計画の中で位置づけている。	事業計画に基づいた運営がなされている。
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	本校の意思決定は、教授会により決定されるが、FD会議や全教職員による月例会議、各分科会議を開催し、方針などの伝達・意思決定がなされている。尚、それぞれの会議の位置付けを行い、運営と議事録の作成・報告を義務付けている。	運営組織や意思決定機能は、明確にされている。
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2020年度入学生より新情報システムの導入を行い、更なる業務の効率化を進めている。2019年度入学生が卒業する2023年度まで、新旧システムを併用することから本来の効率化まで時間を要している。	業務のシステム化も行われているが、更なる活用に向けて点検が必要である。

教育活動

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教授会で方針を策定し、シラバス会議で教育課程編成を行い実施されている。科目ごとにシラバスを作成し、到達目標を明確に掲げている。	教授会で示された方針でシラバスが作成され、到達目標も明確である。
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	セミナーを1年次より実施し、理学療法士として必要な知識や技術だけでなく、医療人としてのコミュニケーション術、そして慈愛の「こころ」を学んでいる。また例年、現場で活躍している理学療法士を招いて、専門性の高い「生きた技術」や「生きた経験」を学ぶ機会を設けている。	様々な分野で活躍する理学療法士を招き、学生へ教示する機会が多数設けられている。また、コロナ禍以前に実施していた、福祉機器の展示施設の見学等の機会を復活させる必要がある。
授業評価の実施・評価体制はあるか	学生による前期・後期の授業評価、教員間での授業評価を実施している。評価結果を基に教務主任が各教員と面談を行い、フィードバックしている。	学生からの評価だけでなく、教員間で授業を見学しお互いにフィードバックするシステムがある。

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	<p>国家試験の取り組みは1年次より行っている。校内模擬試験や全国模擬試験を受けて各自の学力を分析し、チューターの個別サポートを受けて勉強計画を立てている。また、本校独自の国家試験オンライン学習システムを構築し、都合の良い時間に、自分に合った勉強を行うことが可能。</p> <p>既卒者で国家試験に合格できなかった場合、合格するまでサポートする、国家試験合格サポート制度を実施。</p>	<p>ステップアップ学習支援制度で、1年次から国家試験合格への取り組みが行われている。入学直後に、高校生物・物理の復習を行うことで、スムーズに学習を始められる体制が整っている。</p>
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	<p>教育研究費を設け、教員研修や職能団体による学術研修への参加を促している。</p>	<p>学会や研修会に参加した教員は、他の教員に伝達講習を行い、知識・技能を共有できる仕組みがある。</p>

学修成果

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
就職率の向上が図られているか	最終学年では、就職オリエンテーション、就職フェアや、チューターによる個別の面接・履歴書作成練習を行っている。	就職指導はきめ細かく実施されており、毎年の就職率にも反映されている。また、コロナ禍以降も開催方法に工夫が見られる。
国家試験合格率が良好であるか	1年次から国家試験を見据えた取り組みを行っている。1年次では高校生物・物理の復習、個別学習の支援、最終学年では、国家試験対策特別講義を実施している。 また、全学年を通じて、国家試験オンライン学習システムやオンライン動画によるアクティブラーニングを利用した学習がいつでも可能である。	全国平均を上回る合格率である。国家試験オンライン学習システムやオンライン動画によるアクティブラーニングを利用した学習は、コロナ禍以降も有用である。
退学率の低減が図られているか	入学時よりチューター制を設け、個別面談やホームルーム、セミナーなどを通して学習面・生活面の支援を行っている。結果、進級率は向上し退学率は低減してきている。	退学率は低減してきているが、更なる取り組みが必要である。

学生支援

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	希望に沿った将来像を描けるように1年次からチューターが個別に対応。就職オリエンテーションや就職フェアを開催する他、就職活動においても、引き続きチューターが個別サポートを実施し、就職決定までフォローしている。	チューターによる個別対応が取られている等、きめ細かく支援が行われている。
学生相談に関する体制は整備されているか	チューター制を設け、面談やホームルーム・セミナーなどを通して学習面・生活面の支援を行っている。また、学生支援室を設け、学習面・生活面での不安を話せる環境を整えている。	チューターと学生部が連携した指導体制が整備されている。

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
保護者と適切に連携しているか	<p>保護者に対しては、入学式終了後、保護者説明会を実施し、学生指導体制（チューター制度）、進級・卒業規程、臨床実習、学生生活、生活習慣の心構え、国家試験、就職状況等の説明を行っている。入学式以外にも保護者相談会を定期的に実施し、保護者からの相談の機会を確保している。</p> <p>また、出席や成績等で不安がある学生の保護者へは、チューターが直接保護者へ連絡し状況説明を行い、改善が見られない場合は面談を実施している。</p>	出席状況や授業での取り組み姿勢を常に把握し、問題のある学生は教員から保護者へ連絡する体制が整えられている。
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	高校3年生の生徒さんに本校へ来校いただき、「①ストレッチ、②筋力トレーニング」をテーマに、講義と演習を行った。	高校へ本校教員が出向く出張授業だけでなく、高校の生徒さんが職業教育の一環で来校される機会もある。
修学支援体制が整っているか	2020年度より本校は、国の「修学支援新制度」の対象校として認定され、授業料減免及び給付型奨学金の対象となった。また、日本学生支援機構の奨学金及び日本政策金融公庫による国の教育ローン等の紹介を行っている。学費の延納制度や分納制度を設けており、一括での納入が厳しい学生には有用である。	高等教育の修学支援新制度利用者が増加傾向にあり、支援制度の一助として定着しつつある。

教育環境

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
<p>施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか</p>	<p>教育施設・設備は、理学療法士養成施設指定規則に定められた基準に適合している。開校 20 年目を迎えるが、定期点検や設備面の更新を行い安定利用に努めている。理学療法士養成施設指定規則改正による、新たに定められた機械器具の導入は 2019 年 9 月に完了し稼動している。</p>	<p>理学療法士養成施設指定規則改正初年度より、新基準の設備で授業が行われているが、既存の教育施設・設備のメンテナンスも着実に実施されている。</p>

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
<p>学内外の実習施設等について十分な教育体制を整備しているか</p>	<p>毎年1年次生に医科大学の解剖実習室にてご献体の解剖見学実習を実施している。また、理学療法の臨床実習では進度に応じて、見学実習、評価実習、総合臨床実習を行っている。臨床実習に関しては、実習期間中に本校の教員が訪問を実施することで、迅速に学生情報の共有化が図れ、実習における学生支援が十分に行える環境にある。</p> <p>また、2023年度は、6月・8月の2回に亘り「臨床実習指導者講習会」を開催し、新カリキュラムに対応した臨床実習指導者の養成に努めた。</p> <p>なお、2023年5月8日からは新型コロナウイルスの感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」になるなど、感染防止対策緩和の動きが進んでいるため、臨床実習はすべて臨床現場にて実施することとなった。</p>	<p>実習施設での指導者に対して、毎年「臨床教育者会議」を実施し、本校の教育体制の理解を深める機会を提供している。</p> <p>また、「臨床実習指導者講習会」を開催し、新カリキュラムに対応した臨床実習指導者の養成に努めている。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を注視し臨床実習を実施することが望ましい。</p>
<p>防災に対する体制は整備されているか</p>	<p>防災に関しては、年1回避難訓練並びに、近年多発している自然災害に対応した防災教育を実施している。</p>	<p>非常時の連絡体制も整備されている。</p>

学生募集

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	卒業後の取得資格・求人状況などについて、ホームページやパンフレットに掲載している。また、教職員で担当高校を定期的に訪問し、高校教員に直接説明を行っている。	情報共有の取り組みとして、SNSや動画配信を用いた取り組みも行われている。
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	オープンキャンパスなどでも明確に説明している。その結果、入学希望者・保護者等に理解を得られている。	様々な機会を利用し、情報は正確に伝えられている。

財務

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	事業計画に基づいて事業は行われている。しかし、学生募集については引き続き注力していく必要がある。	18歳人口が低減する中、更なる取り組みが必要である。
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	翌年度の事業計画書が作成されており、学校全体の予算化は図れている。	有効かつ妥当なものである。
財務について会計監査が適正に行われているか	会計監査については、私立学校法の規定に伴って監事による監査がおこなわれており、毎年6月に実施される理事会および評議委員会に監査報告書が提出されている。また、公認会計士による監査もおこなわれ、監査報告書も提出されている。	会計監査は適正に行われている。

法令遵守

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令や専修学校設置基準、理学療法士養成施設指定規則を遵守し、適正な運営を行っている。設置基準並びに指定規則の基準を満たし、大阪府より認可を受けている。さらに毎年、大阪府教育庁 私学課、大阪府保健医療部 保健医療室 保健医療企画課へ基礎資料調査、定期報告書を提出している。	法令や基準を遵守し適正な運営がなされている。
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報保護に関しては、教員・学生ともに誓約書の提出を義務付けている。また、入学時、臨床実習前には SNS の取り扱いなどの教育機会を設けている。	個人情報は厳重に管理されている。

社会貢献・地域貢献

点検評価項目	自己評価	学校関係者評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	本校施設は、大阪府理学療法士会やリハビリテーション団体が主催する研修会に活用されている。学校に隣接している扇町公園にて毎年、環境美化活動実施している。また、地域の福祉センターで健康教室を実施し、毎年多くの高齢の方に参加いただいている。	引き続き、コロナウイルスの感染状況を注視し社会貢献や地域貢献を実施することが望ましい。